

TAKE FREE!!

HOT MONTHLY CAR MAGAZINE

05

2016
Vol.142
(通巻300号)

カーゾーン

検索

クルマの無料情報誌

CARZONE®

カーゾーン

特集:



HISTORY of 25

歴代表紙ギャラリー

東海オールドカークラブスプリングMTG2016
25th スペシャルプレゼント
癒しの湯めぐり2016

独占取材



CLASSIC CAR MEETING
IN MINO 7TH

皆様に支えられてCARZONEは
25周年 & 通巻 **300号**

毎月第2金曜発刊



無料

安心&お得な地元情報が満載!! 「クルマの事なら、カーゾーン」
お一人様一冊ずつご自由にお持ち帰りください。

Ⓜ (社)自動車公正取引協議会の賛助会員です。
(株)カーゾーンはより安心して自動車を購入できるよう、社団法人自動車公正取引協議会の定める「中古車規約に基づく広告表示事項」に基づき作成、編集しております。

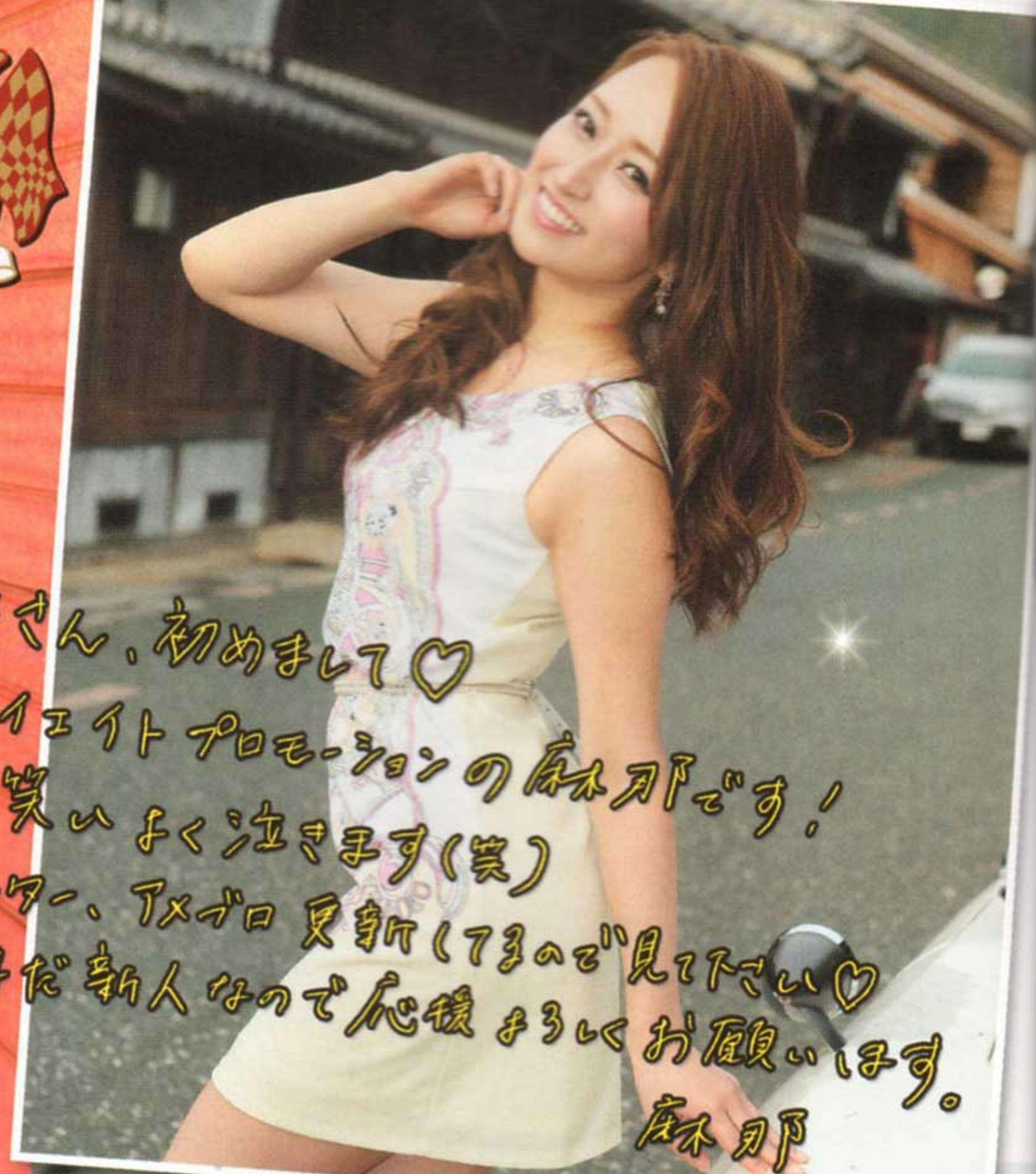
麻那

ちゃん

ピンナップガール



お母さん、初めまして♡
スカイエイトプロモーションの麻那です！
よく笑いよく泣きます(笑)
ツイッター、アメブロ更新して多くの方に読んでほしい♡
まだまだ新人なので応援よろしくお願ひします。
麻那



●まな
6月1日生まれ(マリリン・モンローと同じ)
愛知県岡崎市出身 双子座 A型
T.162 B.83(Eカップ) W.60 H.88
■チャームポイント/おでこ ■趣味/ゴルフ、カラオケ ■特技/フルートが吹けますっ！ ■マイブーム/愛犬ルルと一緒に過ごす時間(誕生日が一緒なんです♡) ■おすすめのお店/幸田町のドッグカフェ「GOU」
■欲しいもの/ルルの相方が居るとイイな〜 ■愛車/ヴィッツ
■好きな男性のタイプ/紳士な人
■将来の夢/エステサロンの経営
[ブログ] ameblo.jp/mana-sky8/
[Twitter] [@mana_sky8](https://twitter.com/mana_sky8)

チャンネル登録してね♡
CarZONE★ in YouTube
カーゾーンムービー
YouTubeでピンナップガールのメッセージ動画が観られるよ♪

今月のカバーカー R3000GT [TOYOTA 2000GT SUPER REPLIC] R3000GT [トヨタ 2000GT スーパーレプリカ]

元 トヨタワークスチームキャプテンとして輝かしいレース戦績を持つ名ドライバーであり、トヨタ2000GTの開発においてデザインアシスタントを担当した細谷四方洋(ほそやしほみ)氏が監修を務め、Rocky Autoが製作した“幻の名車・トヨタ2000GT”のスーパーレプリカである。今から約50年前、2000GTに込められた思いと拘りを妥協なく再現し、心臓部には近代ドライブレインを採用した「見た目はオリジナル、中身は現代」な、新しいコンセプトのノスタルジックカーである。

CARZONEでも以前に特集したHVバージョンと、この直6、3ℓバージョンが用意されている。もちろんナンバーを取得しており、公道使用ができる。



Rocky Auto ロッキーオート
☎0564-66-5488
📍愛知県岡崎市小美町字殿街道153
🕒9:00~20:00(完全予約制)
🌐www.rockyauto.co.jp



vol.7 Classic Car Meeting

第7回クラシックカーミーティングin美濃

2016.3.13(日) 美濃市うだつの上がる町並み

in MINO

読者の皆さん、いつもCARZONEをご愛読頂きありがとうございます。さて今回は美濃市で開催された「第7回クラシックカーミーティングin美濃」をご紹介します。「本美濃紙」「日本の手漉和紙技術」がユネスコ無形文化遺産に登録され更に「長良川の鮎」まで世界農業遺産に登録されるなど「美濃」が世界的なブランドとして認知される中、このイベントも7回目を迎え、年々盛大になってきたことは本当に嬉しい限りですね。美濃市は長きに渡る日本の伝統や文化を今日まで継承し続けている稀な街で1300年の歴史を持つ「美濃和紙」や「うだつ」など貴重な文化遺産があります。「美濃クラ」は、この江戸時代から続く「日本の伝統文化の偉大さ」と古き良き時代のクラシックカーが魅せる「自動車の持つ文化的価値と芸術性」を同時に感じさせてくれるという珍しいイベントです。「うだつが上らない」という言葉の語源ともなった美濃市の「うだつ」を背景にしたクラシックカーはまさしく芸術。すっかり西洋かぶれした日本人に、忘れかけた「美しい日本」を感じさせてくれますね。今回も3万5000人を超えるギャラリーの皆さんが詰めかけ、参加車に手を振る姿がとても印象的でした。全てをご紹介しますが、できるだけ多くの参加車両を掲載いたしました、どうぞお楽しみください。

今回はフェアレディZの系譜として各年代のモデルを特別展示しました。

手ごろなスポーツカーとしてアメリカにも多く輸出され、今でも日米ともに根強いファンが多い名車です。輸出名は「ダットサンZ」でした。岡崎市のロッキオオートさんにより現代版仕様に改造されたモデルで、エンジンは日産RB30を搭載したエアコン、パワステ付きという快適モデルで、まさに現代の貴婦人です。



日産フェアレディ Z改 (昭和52年式)

3100ccのエンジンを搭載しています。日産車は特にオリジナルでは物足りず、自分の好みに仕上げた車が多いですね。チューニングパーツが多いのも特徴ですね。



日産フェアレディ 240ZG (昭和50年式)

今見ても素晴らしいデザインで、まさに「フェアレディZ」を世界的名車に押し上げたモデル。2400ccエンジンを搭載した2シーターモデル。マールーンのボディカラーが素晴らしくカッコイイ!



3代目日産フェアレディ Z (昭和62年式)

昭和58年～平成元年まで製造されたZ31。エンジンが直6からV6へと変更され高性能モデルは3リッターターボを搭載。後に2リッターターボも追加されました。



4代目日産フェアレディ Z (平成12年式)

平成元年～12年まで製造されたZ32。ついにエンジンがツインターボ化され280馬力を誇りました。そのワイド&ローフォルムは今でも人気が高いですね。



日産スカイライン2000GT-R (昭和46年式)

レース用エンジンをベースとした2リッターDOHC24バルブのS20エンジンを搭載した高性能モデル。昭和45年から47年にかけて2ドア車が1,197台、4ドア車が832台生産されました。



日産スカイライン2000GT-X (昭和47年式)

通称「ハコスカ」は歴代スカイラインの中で今でも一番の人気モデルです。4ドア、2ドアHT、ワゴンがラインナップされていました。



日産スカイライン2000GT-R (昭和47年式)

やっぱり「GT-R」は旧車の中では断トツの人気車です。今では何と2,000万円以上に価格が高騰。10年前に買っておけば良かった...と思ってる方、多いのでは?



日産スカイライン2000GT-R (昭和48年式)

エンジンはもちろん高性能S20エンジンを搭載します。生産台数はわずか197台でハコスカより希少モデルであり現在は4,000万以上とか...うーん。



日産スカイライン2000GT-R (昭和48年式)

ケンメリの4ドアモデル。ケンメリの由来は当時のCMキャッチコピーが「ケンとメリのスカイライン」だったからです。丸型4灯のテールライトが特徴です。



日産スカイライン2000GT-X 4ドア (昭和50年式)

初代シルビアは1600ccOHVエンジンを搭載。クリスピーカットと呼ばれた美しいデザインを生かすためボディの継ぎ目を極力なくした意欲作でした。554台の生産に終わりました。



日産セドリックカスタム (昭和40年式)

由緒正しき初代モデルです。サイドに回り込んだフロントウィンドウが特徴で、ワゴンやバンモデルも造られました。50年前の車には思えないぐらい綺麗でした。



日産プリンスグロリア (昭和43年式)

グロリアはプリンス自動車と日産が合併後に登場したモデル。通称「縦グロ」と呼ばれます。当時のアメリカンデザインが今でも人気のモデルです。



日産シルビア (昭和40年式)

初代シルビアは1600ccOHVエンジンを搭載。クリスピーカットと呼ばれた美しいデザインを生かすためボディの継ぎ目を極力なくした意欲作でした。554台の生産に終わりました。



日産ブルーバード1800SSS (昭和46年式)

通称510と呼ばれるモデルで当時大ヒットした2ドアハードトップです。SSS(スリーエス)は高性能モデルでした。しかし今やブルーバードの名前も消えました残念ですね...



日産ブルーバード1600GL (昭和47年式)

懐かしい〜。小生の親父が乗ってました。4ドアモデルです。



初代日産ブルーバードワゴン (昭和36年式)

何とも珍しい初代ブルーバードのワゴンモデルです。とても貴重な車を見ることができました。うぐいす色のボディカラーが何ともいえずオシャレですね!!



日産ダットサン1000 (昭和33年〜)

何と60年近く前に日産が製造した1000ccの乗用車モデル。初めての対米輸出や海外ラリーへの参加も行われました。日産の黎明期の貴重なモデルです。